令和８年度授業改善推進プラン（調査結果分析シート）

西東京市立第二中学校

全国学力学習状況調査（中学校第3学年）

	課題が見られた問題の概要	正答率	調査結果を踏まえた成果	調査結果を踏まえた課題
国語	話し合いを受けてどのような意見を述べるか、自分の考えを書く	50	読むことに対する問題の正答率が東京都の平均の5%上回った。文章の内容や構成を捉えたり、目的に応じて必要な情報を読み取ったりする力に一定の成果が見られる。また、複数の情報を比較しながら文章の内容を理解することや、文章の構成や表現の工夫に着目することについても、学習の積み重ねが成果につながっていると	自分の考えを書くという問題に関して東京都の平均より6%下回った。文章から読み取った情報を整理し、目的や意図に応じて自分の考えを形成するとともに、根拠を明確にして記述する力に課題が見られる。特に、複数の情報を関連付けて考えたり、文章の構成や表現の効果を踏まえて自分の考えをまとめたりすることについて、継続的な指導が
	話し合いの中の発言について説明したものとして適切なものを選択する	39.2		
	発言について説明したものとして適切なもの選択する	48.8		
	「可能の意味」を含んでいるものとして適切なものを選択する	44.8		
数学	データ量が1000MBになるときの動画の時間がおよそ何秒になるかを求める方法を説明する	37.7	A数と式、B図形、C関数、Dデータの活用の全ての領域において、東京都の平均を2%から8パーセント上回った。また評価の観点において、思考・判断・表現については東京都の平均を5．8%上回っており、与えられた問に対して数学的に思考をする力が身に付いてきている。	1学年で学んだ「データの分析と活用」の基本的内容を忘れてしまっている様子が見られる。また、数学と日常生活を結びつけ、問題解決の方法を数学的に説明する問題の正答率が著しく低い。数学を「何のために学び、どのように活用できるのか」ということを日頃から感じ、数学に興味をもつような授業の工夫をする必要がある。
	証明する事柄における仮定となる辺や角の関係を選ぶ	45.9		
	最小の階級から6時間以上7時間未満の階級までの累積度数を求める	48.4		
	二つの度数分布多角形の形と位置を比較して説明する	45.1		
英語	学校で普段行うことを1つ取り上げ、それについての説明を書く。	37.5	聞くこと、読むこと・書くこと、話すこと全てにおいて、全国、東京都の平均を10～15%と大きく上回っている。特に思考判断表現の観点で自分の考えや気持ちをまとまりのある文章で答える問いは全国を23%も上回る結果であり、前後を意識して考えをまとめる力が身についてきたと考える。	記述問題でも抵抗なく自分の意見を英文で表す力が身についてきたが、体験したことのある内容と、社会的な話題についてでは正答率に違いが見られる。今後は社会的な話題を教科書以外でも取り入れ、英語で意見を述べることができるよう指導していく。
	インターネットの使用に関して読んだことについて、考えとその理由を書く。	48		
	物語を読み、物語全体を通した登場人物の気持ちの変化をあらわしたものを選択する。	56.8		
	職場体験についての発表を聞き、その後に示される3枚の絵を体験した順になるように選択する。	67.5		